

全ての争議を解決し  
安全・安心の航空へ

航空連ニュース

航空労組連絡会  
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル  
Tel 03-3742-3251  
Fax 03-5737-7819  
No.1006 (35-27) 2021年2月27日

# 生活苦鮮明「かなり苦しい」31.6%

## 6割が仕事環境に変化

21 春闘統一アンケート結果

単位：%

回収枚数 1733 枚		カッコ内前年
生活実態	かなり苦しい	31.6 (20.1)
	やや苦しい	29.7 (39.1)
	まあまあだ	31.9 (32.3)
	ややゆとりがある	4.8 (6.4)
	ゆとりがある	2.1 (2.1)
人員	不足している	53.2 (87.5)
	足りている	46.8 (12.5)
関心事 (3つ選択)	健康不安	17.3 (26.9)
	雇用不安	24.7 (7.8)
	航空安全への不安	7.7 (13.2)
	技術力・スキル低下	14.4 (16.0)
	旅客サービス低下	2.6 (7.2)
	労働条件切下げ不安	26.3 (20.0)
	組合力低下	6.9 (9.0)
	コロナや感染対策	28.1
	安全	
安全は向上した	10.80 (5.8)	
安全は低下した	28.3 (46.4)	
どちらとも言えない	60.9 (47.8)	
ヒヤリハット経験	17.1 (30.4)	
ヒヤリハットなし	82.9 (69.6)	
変化した仕事環境	テレワーク	33.9
	一時帰休	20.7
	無給休暇	4.1
	勤務時間の短縮	22.3
	出向など	1.0
	変化なし	37.6
	その他	14.8
※項目ごとの回答率。		

1 年前に比べて私たち生活はより一層厳しさを増し、働き方も大きな変化をもたらしている実態が、航空連が行った春闘統一アンケートで浮かび上がりました。(表参照)

アンケートによると、生活実態では「かなり苦しい」「やや苦しい」を合わせ 61.3%が生活面の厳しさを訴えています。「やや苦しい」は前年調査に比べ 9.4 ポイント減る一方で、「かなり苦しい」は 11.5 ポイント増加し、生活の厳しさはより深刻化傾向にあります。

人員については、「不足している」53.2%、「足りている」46.8%と、運休・減便の影響を反映した結果を示しました。

関心事 (3 つ選択) については、関心の高い順に「コロナや感染対策」28.1%、「労働条件切り下げ」26.3%、「雇用不安」24.7%となりました。感染対策や雇用問題が優先課題であることがアンケートでも示されました。

安全関係では、「安全は向上している」10.8%に対し「低下している」は 28.3%、「どちらとも言えない」60.9%でした。「向上した」「どちらとも言えない」が増加しました。「ヒヤリハット経験」は 17.1%でした。

今回の調査では追加項目として、仕事環境がどう変化したのかについて聞きました。結果は、「テレワーク」33.9%、「一時帰休」20.7%、「勤務時間短縮」22.2%、「変化しなし」37.6%でした。約 6 割が何らかの変化を受けていることが推測できます。また、ANAグループ、JALグループ共に他産業への出向が打ち出されていますが回答は 1%でした。労組によってアンケート項目の対象に含めなかったことの反映と思われる。

これから春闘交渉が本格化します。生活や雇用を守り、変化する働き方にはしっかりとルールづくりが求められます。

以上